

保育課程 和光保育園

保育理念	親鸞聖人の生き方に学び、生かされているいのちに目覚め、ともに育ち合う【報謝と和合】 ・報謝とは「ありがとう」「おかげさま」と心から言えること ・和合とは他者を尊重し、思いやり、よく聞き、仲よくすること
保育目的 (子ども像)	・ほとけさまを拝む子 ・人の話をよく聞く子 ・素直に「ごめんなさい」「ありがとう」のいえる子 ・なかよくする子
保育方針 (園の姿)	・ドキドキワクワク楽しい保育園 ・保護者に信頼される保育園 ・地域に根ざし愛される保育園
家庭との 連携	・毎日の送迎時の対応は丁寧に行う (特に怪我や傷を負った時、かみつき等の場合は顔を合わせて説明し、なるべく主任が同席する) ・連絡帳の活用 ・園だより・クラスだより通信 ・配布物等を忘れないようにする ・必要に応じて家庭訪問を行う ・保護者からの相談を受けやすいよう配慮する
地域との 連携	・園の行事に積極的にお誘いする ・一時保育の実施 ・園訪問を歓迎する ・地域の催しに協力・参加する ・ホームページ更新に努め、園の様子をタイムリーに伝えていく
小学校との 連携	・小学校の先生の保育体験 ・南部地域発達支援ネットワーク(園・学校・施設)による連携 ・児童と園児の交流会を持つ(町探検・おもちゃまつりへの招待など) ・就学にあたり、学校と綿密な連携をとる
行事	・入園式 ・お見知り遠足 ・降誕会 ・保育参観 ・虫菌予防研修会 ・夏祭り ・運動会 ・祖父母招待会 ・マラソン大会 ・おもちつき ・お初釜 ・御正忌報恩講 ・発表会 ・遠足 ・お別れお茶会 ・卒園式
安全対策 危機管理	・月一回の災害避難訓練の実施 ・園児の急病や怪我に際しての対応の徹底と流れの把握 ・お迎えの人の確認 ・日頃の遊具や園内外の点検 ・専門業者の遊具点検 ・救急法研修の充実
長時間保育	・4時以降(早出退勤後)の連携の徹底(人数の把握と職員配置) ・お迎えの人の確認 ・門の開閉に注意(開けっ放しにしない) ・家庭的な雰囲気の中で異年齢の関わりを大事にする ・できるだけ細やかな保育をする
気になる 子どもの 対応	・子どもの様子をしっかりと観察記録し、保護者との密な連絡のもと保育をすすめる ・保護者周知のもと、他の専門機関と連携していく ・根気強いかかわり、無理強いをしない ・担任ばかりでなく、全職員で関わっていく
職員の 資質向上	・職員会議やグループミーティング、毎日の朝会にはそれぞれに課題や気づきをもって参加する ・園内研修の充実 ・保育団体、市や県の研修に積極的に参加する ・ミーティングで話を出し合えるよう日頃からメモを残す

		おおむね6ヶ月未満	おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月	
		(ゆめぐみ)いっぱい愛されて最も著しい発達をみせる	(にじぐみ)	
発達過程		・世話をしてもらい、笑顔で語りかけてもらいな がらうんと愛されていることを感じるにより、 愛されていることの自信が育ち、人への信頼が 育っていく。	・人見知りと同時にだれにかわいがってもらって いるのかはっきりと認知する知恵が増し、加わる。 ・ハイハイ、歩行ができるようになり、行動範囲と 好奇心が広がる。	
ねらい	生命の保持	・安全な環境と生活リズムの形成を図る	・快適な生活の中で、満足感を味わう。	
	情緒の安定	・応答的、積極的な対応による情緒的な絆の形 成を図る	・安定した環境の中で、自他の認識をし、信頼関 係を築く。	
	健康	・個人差に留意し、健やかな成長を促す	・信頼関係による情緒の安定を基盤に探索欲を 高める。	
	人間関係	・特定の大人に対する信頼感の芽生えを促す。	・特定の大人の愛情関係から次第に周囲の大人 に興味を持つ。	
	環境	・五感を働かせる経験により豊かな感性を育む。	・整えられた環境のもと、室内外の遊びを楽しむ。	
	言葉	・特定の大人と触れ合い反応する。	・応答的な触れ合いの中で言葉の芽生えを促す。	
	表現	・愛着関係のなかで欲求を表す。	・周囲の人や物に興味を持ち、表現意欲を高める。	
内容	生命の保持	・安心できる環境の中、授乳や睡眠などの生活 リズムが整うようにする。	・子どものやりたい気持ちを受け止め、援助しな がら満足感を与えるようにする。	
	情緒の安定	・生理的欲求や精神的欲求を十分に満たすよう にする。	・自分の存在や行動を肯定する気持ちが育まれ るようにする。	
	健康	・のびのびと手足を動かしたりする心地よさを 知る。	・周囲の人や物に興味を持ち、探索活動を楽しむ。	
	人間関係	・特定の大人と過ごすことを喜ぶ	・身近な人に興味を持ち、身振りを真似るなど して自分から関わろうとする。	
	環境	・動植物に興味を持ったり、身の回りのいろい ろな玩具に触れて喜ぶ。	・気にいった遊具や色々な素材に触れるなどの 体験を広げる。	
	言葉	・保育士の声に応えて笑ったり、声を発したり する。	・周囲の大人が応答的に関ることで反復 語を 発する。	
	表現	・特定の大人に体の動きや 語などで意思や欲 求を表す。	・意思や欲求を伝えようとしていたり、歌に合 わせて体を揺らしたり、リズムを楽しむ。	
食育	・安定した人間関係の中でミルクを飲み、心地 よい生活を送る。	・様々な食べ物を見る・触る・味わう等の経験 を通して、すすんで食べようとする。		

		おおむね1歳3ヶ月～2歳未満	おおむね2歳
ねらい	発達過程	(にじぐみ)「自分で自分で」「大好きとイヤイヤ」 ・大好きな人に見守られながら、好奇心旺盛に遊びだし、何でも自分でしたがる。 ・自分のまわりにあるものとの出会い・発見・感動・喜びでいっぱい。 ・しかし、「うまくできない」「やりたいけどできない」こともたくさん有り、喜怒哀楽が手に取るようになる。 ・わかる。	(ほしぐみ)自我の芽ばえと探究心「これなあに？」 ・歌やダンスなど体全体を動かすことが器用になり、毎日の生活を生き生きと躍動的に過ごすようになる。 ・「なぜ・?」「どうして?」の子どもの質問には丁寧に答える。手や足や頭を使って自分で考え、決め、行動することで知恵や力が身につくので、失敗しても体験して理解したことを認めていく。
	生命の保持	・健康で安全な環境の中で快適に過ごせるようにする。	・危険と思われる行動や場所を知り、安全に過ごせるようにする。
	情緒の安定	・心の安定を得られるように、心地よい環境の中で保育士とのスキンシップを図る。	・安定感を持って過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。
	健康	・周りの人との関りを広げ、体を使った遊びを楽しむ。	・明るくのびのびと行動する。
	人間関係	・友達や周囲の人への興味や関心を持ち、親しみを感じて関わろうとする。	・保育士やクラスの子どもたちと親しみ、関りを深め、愛情や信頼関係を持つ。
	環境	・玩具を使った遊びの中で友達との関りを持ち、見たり触れたりして自分もやってみようとする。	・自然と触れ合う中で、様々な事象に関心を持つ。
	言葉	・指差しや身振りまたは簡単な言葉を使って気持ちを表そうとする。	・日常生活に必要な言葉が分かる。
内容	表現	・色々な素材に興味を持ちイメージを膨らませながら楽しむ。	・物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。
	生命の保持	・子ども一人ひとりの心身の発育や発達状況を的確に把握し、適切に援助する。	・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関りを通して、危険性を伝えていく。
	情緒の安定	・子どもが安心して自分の気持ちを表すよう保育士との信頼関係を築くようにする。	・子どもの発達状態を把握し、生活の流れを無理の無いようにすすめていきリズムをつくる。
	健康	・保育士と一緒に全身や手や指を使う遊びを楽しむ。	・すすんで戸外で遊ぶ。
	人間関係	・身のまわりに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関って遊ぶ楽しさを味わう。	・遊びの中で友だちと積極的に関る。 ・保育士や友だちと共に過ごすことの喜びを味わう。
	環境	・様々な場面や物へのイメージを膨らませ、そのイメージしたものを遊具などで見立てて遊ぶ。	・散歩に出かけ、草花を見たり、畑の野菜を見たりして植物に興味を持つ。
	言葉	・保育士等の応答的な関りによって、片言・一語文・二語分を話そうとする。	・生活の中で必要な言葉を使う。 ・日常の挨拶をする。
表現	・水・砂土・粘土など様々な素材に触れ楽しむ。 ・自由な表現を保育士と一緒に楽しむ。	・音・色・形・手触り・味・香りなどにきずいたり、感じたりする。	
食育	・色々な食べ物に関心を持ち、スプーンやフォークを使って、意欲的に食べようとする。	・色々な食べ物や料理を味わう。	

		おおむね3歳	おおむね4歳
発達過程		(ほしぐみ)想像大好き主人公時代(はなぐみ)	(はなぐみ)想像大好き主人公時代(ゆきぐみ)
		・いろいろなことに興味を持ち、お話も十分に聞くことができるようになる。	
		・礼拝や生活を通して「いのちの大切さ」と阿弥陀様がいてくださることを知り、「うれしいね」「ありがとう」と感謝を素直に表すことができる。	
		・自分の身体や手を使って、生活や遊びのイメージ、言葉の世界をひろげ、自分をいっぱい発揮する。そこから乱暴とも思えるほどに奔放な言動をとったり、想像力が生み出したヒーロー・ヒロインとなって活躍する。	
ねらい	生命の保持	・子どもの生理的欲求が十分に満たしながら生活リズムを作っていく。	・十分に養護のゆきとどいた環境のもと、快適に生活する。
	情緒の安定	・子どもの主体性を育み、個々の欲求を受け止めながら、周りの友だちとも上手に関れるよう言葉かけをする。	・くつろいだ雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を適切に満たし、安定を図る。
	健康	・体を十分に動かし、すすんで運動しようとする。	・基本的な生活習慣を身につける。 ・全身のバランスがとれる運動を楽しむ。
	人間関係	・園生活を楽しみ、友だちとの関りを深める。	・人との関りの中で、道徳性の芽ばえを培う。 ・事故を十分に発揮し、他社と強調して生活することを楽しむ。
	環境	・物の性質や数・量に対する感覚を豊かにする。	・身近な環境への好奇心や探究心を深める。
	言葉	・自分の経験したことを話し伝え合う喜びを味わう。	・生活の中で言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解し、言葉豊かにする。
	表現	・経験したこと、感じたことを自分なりに表現して楽しむ。	・様々な体験を通して、面白さ・不思議さ・美しさに気づく。また、豊かな感性・創造性を育み、表現する楽しさを味わう。
内容	生命の保持	・健康・安全などの生活に必要な基本的な生活習慣が身につくように、子どもと一緒に繰り返し行う。	・健康・安全などの生活に必要な基本的な習慣が身につけられるようにする。
	情緒の安定	・子どもの気持ちを理解・受容し、時には代弁しながら信頼関係を深め、落ち着いた生活ができるようにする。	・子どもの気持ちを理解・受容し、信頼関係を深め、安心して過ごせるようにする。
	健康	・自由に発想しながら並行遊びを楽しむ。	・ことばかけで身の回りのことをひとりでするようにする。
		・戸外で様々な遊具や用具に関して遊ぶ楽しさを味わう。 ・少しずつ危険を回避して遊ぶようになる。	・全身を使いながら、様々な遊具や遊びに挑戦し、楽しむ。 ・危険なものや場所が分かり、気をつけて遊ぶ。
	人間関係	・共に過ごす楽しさ・仲間と一緒にいる喜びを味わう。	・仲間といることの喜びや楽しさを感じ、いきいきと遊ぶ。
		・生活や遊びを通して異年齢児との交流を楽しむ。 ・友だちとの関りを深め、共通のイメージを持って遊びを楽しむ。	・主張をぶつけ合うという経験を重ねる中で、子どもの自己肯定感や他者を受容する感情を身につけていく。
	言葉	・身近な動植物や自然現象を見たり、触れたり、世話をするなどを通して親しみや愛情を持つ。	・物や動植物の特性を知り、より豊かな関り方や遊び方を体得する。
		・日常生活の中で、数・量や図形などに関心を持つ。	・身近な大人の仕事や生活に興味を持ったり、取り入れて遊ぶ。 ・行事に喜んで参加する。
表現	・自然や生活の中で感動したことを言葉で伝えようとする。	・言葉の意味するものや話されたことの内容を徐々に解し、言葉で伝え合うことの喜びや、言葉により心を通わせることを楽しむ。	
	・休みの日の出来事をみんなの前で話す。		
食育	・様々な素材や画材を使って描画造形を経験する。	・現実に体験したものと絵本などの想像の世界で見聞きしたことを重ね合わせ、イメージを膨らませて遊ぶ。	
	・大人の行動や面白いと感じたものを模倣し、楽しむ(ごっこあそび) ・音楽に親しみ、歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。	・目的をもって行動し、作ったり描いたり試したり工夫して遊ぶ。	
	・食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。	・慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する。	
	・友だちと共に食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。		

		おおむね5歳	おおむね6歳
		(ゆきぐみ) 自意識と好奇心時代(つきぐみ)	(つきぐみ) 自立と自律・思いやりの心
発達過程		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとのつながりが深まり、楽しさを感じる一方けんかも多くなる。 ・自分のことが少しずつ分かってきて自分をコントロールすることができるようになる。 ・自分のことを自分でしたがる段階から他のことが気になり手を出したくなる。 ・心の葛藤を感じ始める時期。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな友だちがいることを知り、園以外の地域社会や世界のことなどに興味を持つ。 ・様々な人間関係を経験することにより自分を意識し、自分を認め、困っている友達の気持ちに寄り添うことができるようになる。 ・筋道の立った考え方や物事をいろいろな方面から見るようになる。
ねらい	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力増進を積極的に図る。
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・安定感をもって過ごせるようになる。 ・自分の気持ちを安心して表すことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人との相互的な関りにより、自己肯定感を育てられるようにする。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能が高まり、体を動かして遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な心を育て、自ら健康で安全な生活に習慣や態度を身につける。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の中の一人としての自覚が芽生える。 ・自分への自信と友だちへの親しみや信頼感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人と親しみ、支えあって生活するために望ましい習慣や態度を身につける。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生命・自然・社会の事象についての興味や関心を持ちそれらに対する感覚を豊かにする。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝える力や相手の話を聞く力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話をよく聞き、自分の経験したこと・考えたことを話し、伝え合う喜びを味わい、保育士や友だちと心を通わせる。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・共通のイメージを持って遊んだり、目的に向かって集団で行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
内容	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の流れを見通しながら、行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な基本的な生活習慣が身につくようにする。
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを受容し、共感しながら子どもとの継続的な信頼関係を築いていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な経験が重なる中で成長していく過程を見守り子どもの自己肯定感を育てていけるように関わる。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・体全体を使って複雑な運動や週だ遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全身運動が滑らかで巧みになると同時に手の動きが細やかになり自身を持って活動できる喜びを味わう。 ・自分の体や健康に関心を持ち、健康に過ごすことの大切さに気づく。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・主張のぶつかり合いやけんかが起きても、相手を許したり、異なる思いや考えを認め、自分たちで解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に行動する中で共通の目的を見だし協力する気持ちを持つ。 ・決まりの大切さに気づき、守ろうとする。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を対比する能力が育ち、時間や空間などを認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で数量・図形・文字などに関心を持つ。 ・近隣の生活に興味や関心を持ち、行事に喜んで参加する。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちをわかりやすく言葉で表現したり、相手の気持ちを聞こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと会話を楽しんだり、伝え合うことや理解し合うことの喜びを味わう。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に親しみ、友だちと歌ったり、合奏したりして一つのものを作り上げる楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・食習慣やマナーを身につける。 ・食べるのが健康に大切であることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いが無くなり、配膳された食事を残さず食べてしまうことができる。